

外に出て学びの場所を。

私は、長時間労働や残業時間が社会問題となる以前は、時間を気にすることなく会社に残って勉強や自己研鑽に励むことができていたと上司に聞いたことがあります。それは、勉強をしたいという気持ちを制約することがないという良い面がある一方、時間に制限がないことから残業業務に義務を感じ、過労となってしまう悪い面もあります。以来、働き方について問われ、働き方改革関連法が施行されている現在は勉強したいという気持ちがあっても、残業時間の削減、勉強は仕事ではないという考えや、サービス残業との区別化をグレーにしてしまうという理由から会社に残って仕事に関する勉強をすることが難しくなりました。それに伴い、経験や知識のある上司に教えを受ける機会も減りつつあるのが現状です。

このような現状に対し、私はとても幸運なことに業務時間外だとしても自分の経験や知識を後輩に伝えたいという思いを持つ方に出会うことができ、日々勉強に励むことができています。そこで、私は、仮にその方と出会っていなければ、そのような方と出会う場所があって欲しいと思うだろうと考えました。同業者の方と会い、意見交換ができる場所は会社上が多く、プライベートでかかわる場所はほとんどありま

せん。そこで私は、そのような、見返りがなくとも自分の知識や経験を伝えたいという方たちを募りそのような方たちを求める方々が気軽に足を運べるような場所を作りたいと思いました。

では、具体的にどのような場所にすべきなのかについて考えていきます。勉強場所として図書館が考えられますが、特に平日は、社会人は図書館の閉館時間以降に自分の時間ができるため夜に開館できる場所が必要になります。また、場所を数カ所に点在化することで通いやすくなります。そこで、日中のみの営業を行っている複数の店舗と提携し場所を借り、環境を整える方法を考えました。そして、場所場所によってどの業界の方たちが多く勉強を行っているのか検索できるようなシステムを導入することが必要です。このような場所ができれば、誰でも気軽に仕事後に通い勉強することができ、同業者の先生のような方たちと出会える機会が得られると思います。そして、まち全体で仕事への意欲向上に努めることができると思います。以上が私の提案です。